

2019年7月4日
株式会社 電通
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、「アンビエント・デジタル・ベトナム社」買収により ベトナムにおけるデジタルメディアサービスを強化

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」※を通じて、ベトナムの独立系デジタルメディアエージェンシー「Ambient Digital Advertising Service Company Limited」（本社：ホーチミン市、創業者兼会長: Thu Nguyen, 共同創業者兼 CEO: Andrew Stevens、以下「アンビエント・デジタル・ベトナム社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2010年に設立されたアンビエント・デジタル・ベトナム社は、ベトナムにおいて有力な独立系デジタルメディアエージェンシーとして成長を遂げてきました。現在では95名の従業員を抱え、デジタルメディアのプランニング、バイイングからクリエイティブ、検索連動型広告、ソーシャルメディア運用に至るまで、幅広いデジタルメディアサービスを提供しています。

株式取得後、当社はアンビエント・デジタル・ベトナム社を、当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの1つで、デジタルパフォーマンス領域に強みを持つiProspect（アイプロスペクト、本拠地: 英国ロンドン市）のベトナム拠点とし、ブランド呼称を「iProspect Vietnam」（アイプロスペクト・ベトナム）へと改称します。今後、当社グループは本件買収を通じて、同国におけるデジタル関連サービスの強化と事業規模の拡大を図ります。

なお、本件が当社の2019年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク」（本社：英国ロンドン市）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【アンビエント・デジタル・ベトナム社の概要】

社 名： Ambient Digital Advertising Service Company Limited
(アンビエント・デジタル・ベトナム社)

本社所在地：ベトナム・ホーチミン市

設 立：2010年8月

株 主 構 成：株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue)：1,167億ベトナムドン（約5.4億円）（2018年12月期）

代 表 者：Thu Nguyen (Founder & Chairman), Andrew Stevens (Co-Founder & CEO)

従 業 員 数：95名

事 業 内 容：デジタルメディアサービス全般を提供

以 上